

「比叡の大護摩」御礼とお知らせ

謹啓 清秋の候 施主各位におかれましては、日々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は総本山延暦寺の法燈護持にご理解ご協力をたまわり厚く御礼を申し上げます。

さて、平成二年より「比叡の大護摩」法要を奉修してまいりました。この間、阪神淡路大震災をはじめとする大地震、世界各地で発生する集中豪雨や山火事などの自然災害、また新型コロナウイルス感染症の蔓延、今もなお続く紛争など、いまだ終息の兆しが見えません。

このような情勢の中「比叡の大護摩」は世界平和・人類安寧・自然災害被災地復興と施主各位の所願成就を祈念する宗祖伝教大師のみ教えのひとつ「真俗一貫」の淨行として、人々が集い、回峰行者と共に祈りを捧げる法要として続けてまいりました。

しかしながら、近年多発しております林野火災の対策として、消防の規制が一層厳格化されております。場合によっては消防局より林野火災警報が発令されます。警報が発令されますと大護摩法要の執行が極めて困難になります。したがって今後は、従来の形での法要執行を断念せざるを得ない状況となりました。

つきましては、苦渋の決断ではありますが「比叡の大護摩」法要は本年をもちまして終了とさせていただきます。決定をいたしました。こののちは形を変え、新たな場所での法要執行が叶いますよう、準備を進めていく所存であります。三十七年の永きにわたり願い事をお寄せいただきましたご法縁の皆さまに対し、お知らせとお詫び申し上げますと共に衷心より厚く感謝御礼を申し上げます。

末筆ではございますが、時節柄、お体にはくれぐれもご留意くださるよう祈念をいたし、御礼とお知らせのご挨拶を申し上げます。誠にありがとうございます。

合掌

令和八年 十月

施主各位

比叡山延暦寺
執行 獅子王圓明